

2月
16(月)

初代教会の方法を回復しましょう

みことば 1:8 しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリアの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります。

「わあ、勉強も、人気も、運動も、できないことはなにもない！」なんでもよくできる友だちを見て、とてもうらやましいですか。しかし、本当にその友だちは幸せでしょうか。ちっともたりないことはないのでしょうか。

1. 人々はかくしています

有名なタレント、大きな会社の社長、よい大学を卒業したエリートなど、私たちが見たら、とても幸せに見える人々も、本当は話せない悩みをかくしています。神様をはなれた人々は、原罪、自分がかす罪、私の力でぜったいに解決できない霊的課題のために、災いの中において、苦しんでいるのです。

2. 人々が知らないことがあります

「どうすることもできない。このように生きるのが私の運命なのかなあ」人々にやってきたのろいと災いは、創世記3章で神様をはなれた事件から始まりました。問題は、人々がこの事実を知らないことです。それで、次の世代に災いが受けつがれていきます。結局、この世で地獄のような苦しみの中を生きて、死んでも永遠な地獄に入るようになります。

3. 初代教会の方法をかならず回復しましょう

私にやってくる問題を解決するために、人々はいろいろな方法を使います。しかし、人間の努力、お金、良い行い、熱心だけでは、絶対に人生の問題を解決することができません。初代教会のように、イエス様をキリストとして信じて告白するのが、すべての問題を解決するただ一つの方法なのです。そして、いつもいっしょにおられるインマヌエルの奥義を味わってみましょう。

神様においのりします

この世の人々が知らない霊的な事実を知らせてくださって感謝します。私の方法、私の力ではなく、すべての問題の解決であるイエス・キリストのお名前で、毎日、勝利する()になりますように。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

福音のメッセージ



かくしています！

「シー、ひみつよ。だれにも言わないでね！」

友だちどうして、「あの子が好きなの、だれにも言っちゃだめよ」または「こんなまちがいをしたの。あなただけに言うね」というような、ひみつの話をするときがあるでしょう。人々は、このようにみんなが、何かをかくしているのです。

神様をはなれた罪をかくしています（原罪）

他の人をだましたり、悪いことをしたり、うそをついたり、なまける罪をかくしています（自分でおかす罪）

ぬすみグセ、ゲーム、わいせつなビデオやまんがなど、

そればかり見たくなり、いやで、やめたいと思うのに、自分も分からないうちに、

くりかえして続けてしまう問題は、しっかりとかくしています（霊的問題）

おじいさんが、お酒を飲んでおばあさんをなぐり、お父さんがお酒を飲んで帰って来て、お母さんをなぐります。私もはらがたつと、弟をとにかくなぐります。家庭と家系にくりかえすのろいと災いをだれにもわからないように、かくしています（かくしている災い）

知らないのです！

人々は、いつからこういう問題がはじまったのかを知らずにいます。

創世記3章16～20節を見れば、人がサタンにだまされて、神様との契約をやぶってから、はじまったとはっきりと書かれています。このことで、人も、動物も、地も、すべてののろいを受けるようになったと言われていました。しかし、人はこの事実を知りません。

サタンをお父さんとして仕えているという事実を知りません。

人は死ねば地獄に行くという事実を知りません。

自分だけ苦労すれば終わると思っています。

しかし、私の子どもにも、このこわい

のろいと問題がくりかえします。勉強が

よくできて、顔がきれいでも、お金が

たくさんあっても、よい人でも、ぜったいに

解決できないという事実を、人たちは

知らないのです。



回復しなければなりません!

人がサタンにだまされて神様との契約をやぶった時、創世記3章15節で、神様はこのすべての問題を解決する女の子孫（イエス・キリスト）を送ると約束してくださいました。

イエス様を心で信じて、口で告白する人には、神様の霊である聖霊様が心の中に入ってきてくださると言われました。聖霊様は、私の人生を導いてくださると約束してくださいました。

イエス様のお名前を祈れば、かならず答えられると約束してくださいました。

イエス様のお名前を呼べば、おわりなくつづいていた問題と、つづけて苦しめていた暗やみ勢力は、縛られて、はなれると約束してくださいました。

イエス様を信じれば、天の国民になって、天の軍勢と御使いが守ってくださると約束してくださいました。

イエス・キリストの中にしあわせと、よろこびと、美しい未来がすべて回復されて、証人となると約束してくださいました。

今、この時間、すべてのことが回復されるお祈りをささげよう。

愛するイエス様、私は罪人です。神様をはなれてさまよい、苦しんでいました。今、この時間に私の心のとびらを開き、イエス様をキリストとして受け入れます。私の中に入ってきてくださって、私の主人になってください。私の過去、今、未来のすべての罪を十字架で血を流して、すべて許して下さったことを感謝します。今から、天国に行く日まで、導いてください。私を神様の子どもにしてください。感謝します。イエス様のお名前によってお祈りいたします。アーメン

かみのこと
いのりのこたえ

せいのこころ
あはれみ

いのちの
いのち

みづかひの
たすけ

せいの
ふくゆか
しゅじんこ

てんごの
こころ



2月 17(火) **大人の問題を解決する**
レムナント

みことば ところが、アナニヤという人は、妻のサツピラとともにその持ち物売り、
使徒 5:1-11 妻も承知のうえで、その代金の一部を残しておき、ある部分を持って来て、
使徒たちの足もとに置いた。

聖霊の感動を受けたバルナバは、教会にすべての財産をささげました。それをねたんだアナニヤとサツピラ夫婦は、自分たちのすべての財産をささげると言いました。しかし、とてももったいないような思いになったのです。それで、すべての財産だとうそをついてしまいました。神様をだましたその人たちは、結局は、死ぬようになったのです。

1. まちがった体質を変えましょう

まちがった体質を持つようになれば、自分も知らないうちに、人のことをあれこれ判断する律法主義、動機だけを満たす人間主義、不健全な神秘主義を使うようになります。神様のみことばより、私の経験、私の知識、私の体験をさらに信じるためです。しかし、レムナントは、神様の前で**眞実な信仰**を準備して、まちがった体質を変えていかなければなりません。

2. 重要な価値観を回復しましょう

がんばって仕事をするのですが、神様のみことばをのがして、聖霊の導きを受けないならば、どうなるでしょうか。いくら素晴らしい実力を持っている人であっても、まちがった価値観と考えて霊的問題を解決することはできません。私の考えをおろして、事件ごとに、まず先に**神様のみことば**について行くのが重要です。

3. 大人たちを見ながらレムナントの土台を準備しましょう

エジプトで7年間、たいへんな飢饉(作物がとれないこと)になりました。レムナントのヨセフは、飢饉が来ることをまえもって知っていて、7年前から大きい倉庫に穀物をたくわえるようにしました。ヨセフのおかげで、国が危機を乗り越えたのです。レムナントは、ヨセフのように、**揺れる時代と大人たち(既成世代)**を生かす**成功者**にならなければなりません。大人たちを理解してはげましながら、**祝福の土台**としなければなりません。毎日、福音の根をおろして、深い祈りを通して霊的な力を回復しなければなりません。

神様においのりします

小さいときから、福音の体質を準備して、福音的な価値が根をおろすようにさせてください。危機にあっているこの時代を生かし、大人の世代を理解する、素晴らしいレムナントにならせてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

いの 祈りの課題をかたいて変えましょう

- 今も神様の力を回復することができます -

使徒 2:1~13 すると突然、天から、激しい風が吹いてくるような響きが起こり、彼らのいた家全体に響き渡った。また、炎のような分かれた舌が現われて、ひとりひとりの上にとどまった。

「神様の栄光のために、ゲーム機をもらえればよいな」

サトルは、献金封筒に、祈りの課題を書いた。最新型のゲーム機を学校に持って行けば、クラスの友だちがその子に集まるので、サトルがにぎった祈りの課題だ。「ぼくが祈ってゲーム機をもらったと言えば、友だちが、自分もと教会に来るはずだから・・・」

なぜ神様がまだ答えられないのかとサトルは理解できなかった。

タケシはサトルが一番うらやましく思う友だちだ。なぜなら、タケシはゲーム機があって、勉強もずっと1番で、サッカーも上手で、ガールフレンドからプレゼントももらったからだ。

サトルは、ほうきで机の下をはいて、タケシの机の下に落ちていたものをひろった。

<子どもの祈りの手帳>という、きれいな本だった。

なにげなく、サトルは閉じていた本をぱっと開けてみた。

「毎日、ぼくといっしょにおられ、答えてくださる神様に感謝します。」



他の答えよりも、聖霊様が私とともにおられ、導き、満たしてくだっている働きを味わうことをねがいます。」

今日のタケシの祈りの課題だった。なぜか顔がかつかと赤くなって、ページを閉じた。「ぼくの祈りの課題と、どうしてこんなにちがうんだろう」

サトルは、すぐに祈りの課題を変えた。

「神様に感謝します。ぼくは勉強すること、携帯電話を持つようになること、サッカーで勝つこと、ゲーム機を持つことなど、ぼくが好きなことだけ祈りました。しかし、祈りの課題を変えて、真の幸せが何か知るようになりました。聖霊様がぼくのたましいの中に満ちてくださる時ごとに、平安と大きな力が生まれました。ゲーム機はすぐに持ってもよくて、そうでなくても大丈夫です。神様がともにおられることが、いちばん大きな幸せだからです。また、他の友だちにこの喜びを伝えさせてください。イエス様のお名前でお祈りします。アーメン」



私はどのように祈ればよいのでしょうか

1. 初代教会の信徒にイエス様は、重要な祈りの課題を直接、教えてくださいました。初代教会の信徒と同じように、祈りの課題を「聖霊に満たされるように」と変えたら、かならず答えられるようになります。
2. 聖霊に満たされた後に来るより大きい祝福を待ちましょう。神様が約束してくださったいろいろな種類の答えがかならずきます。揺れないで信じて待てば、より大きい祝福があらわれます。
3. 神様とともにいるインマヌエルの大きい力を得る一人だけの時間を持ちましょう。祈りの課題を変えて待つ心を持ったとすれば、今からもっとも幸せな祈りをはじめましょう。

私の歴史記録

定刻祈りの点検：昼12時 - 教会のために祈りましょう
夜9時 - RUTCのために祈りましょう



2月
19(木)

危機を解決するただ一つだけの方法

みことば 兄弟たち。イエスを捕えた者どもの手引きをしたユダについて、聖霊が
使徒 1: 14-21 ダビデの口を通して預言された聖書のことばは、成就しなければ
ならなかったのです。

「暮らしが苦しい。何を食べて生きてらよいか」あちこちで経済危機がおそってきたと、わめいています。ニュースには、毎日、争いやデモの知らせを伝えています。一方では、あまりに多く食べた人たちが、病気になるています。もう一方では、食べることができずに、死んでいます。世の中は、今、危機に会っています。

1. 危機がきたとき、今日のみことばをにぎりましょう

だれにでも重要な時刻表があります。また人生が変わるほどの道しるべに会うようになります。ところで、多くの人々がこの時、失敗をしたり、危機にあたりします。しかし、神様は私にぴったり合う、レムナントの現場にかならず必要な今日のみことばをくださると約束してくださいました。その約束をにぎって、聖霊さまの導きを受けましょう。

2. みことばをにぎって祈れば特別な答えが来ます

神様はレムナントが祈る時、危機を解決する特別な答え(みことば)をくださいます。もっとも良い時間を定めて、神様から大きい力を受けましょう。一日中、神様をずっと見上げてみてください。問題が生じる時ごとに、神様の恵みを集中的に求めてみましょう。このように深い祈りの中に入ってみるならば、私も知らない間に、答えが目の前に迫ってくるようになります。

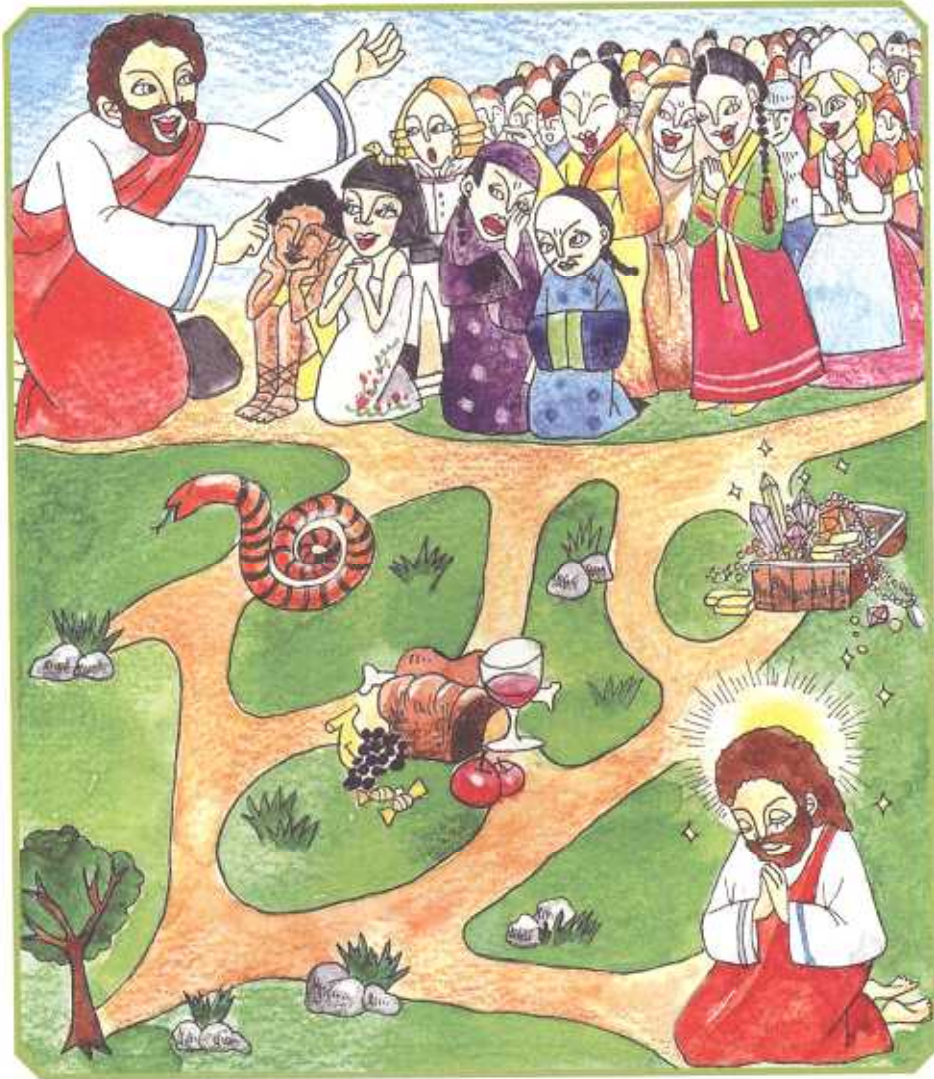
3. 危機に会う時ごとに神様の前に立つべきです

もしかして大きな危機に会っていますか。みんながいっしょに集まって祈る時ごとに奇跡が起こりました。一ヶ所に集まって祈ることはできませんか。みんなが一つの心と、同じ祈りの課題で祈る時、神様のおどろくべき働きがおきます。危機のためにがっかりしないでください。神様をもっともっと見上げるインマヌエルの祝福を味わうレムナントになりましょう。

神様にお願いします
世界福音化の主人公として私を立ててください、レムナントとして祝福して下さる神様に感謝します。まじめに基本をしっかりと、今日のみことばをにぎることができますように。祈りながら、毎日、神様の前に生きることができるよう祝福して下さるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

めいろ

聖靈に満たされたペテロと15カ国からきた人々は、だいたんにイエス様がキリストであることを宣言しました。まがりくねった道をとって、みことばが成就する現場に行ってみましょう。



私の歴史記録



定刻祈りの点検： 昼12時
夜9時

- 教会のために祈りましょう
- RUTCのために祈りましょう

2月 20(金) **イエスを完全に信じますか**

みことば 五旬節の日になって、みなが一つ所に集まっていた。
使徒 2:1

マコトの家は、とても大変です。ジュンは、勉強をせず、遊んでばかりいます。ダイは、大きいのですが、気がみじかいので、友だちといつもけんかをして、先生からいつも叱られています。この友だちは、みんな教会に通っているのですが、本当の答えを受けることができないのです。何を変えなければならないのでしょうか。どうすれば、変えることができるのか分からないのです。

1. 今日から完全信仰ではじめましょう

多くのものを持っている人でも、たりないことはあります。そして、かんぺきに行動することは不可能です。しかし、完全な神様を信じることはできます。レムナントが神様を完全に信じてたよれば、サタンの力はさっていきます。そのときから、神様があたえられる本当の答えが始まります。

2. 神様のみことばに完全にしがきましょう

いつ神様の力が体験できるのでしょうか。神様のみことばに完全にしがうとき、どんなにむずかしい環境であっても、乗り越えることができる力を受けます。神様が完全であることを信じますか。それならば、心配と悩みや思いわずらいは置いておいて、いつも神様のみことばにしがうレムナントになりましょう。

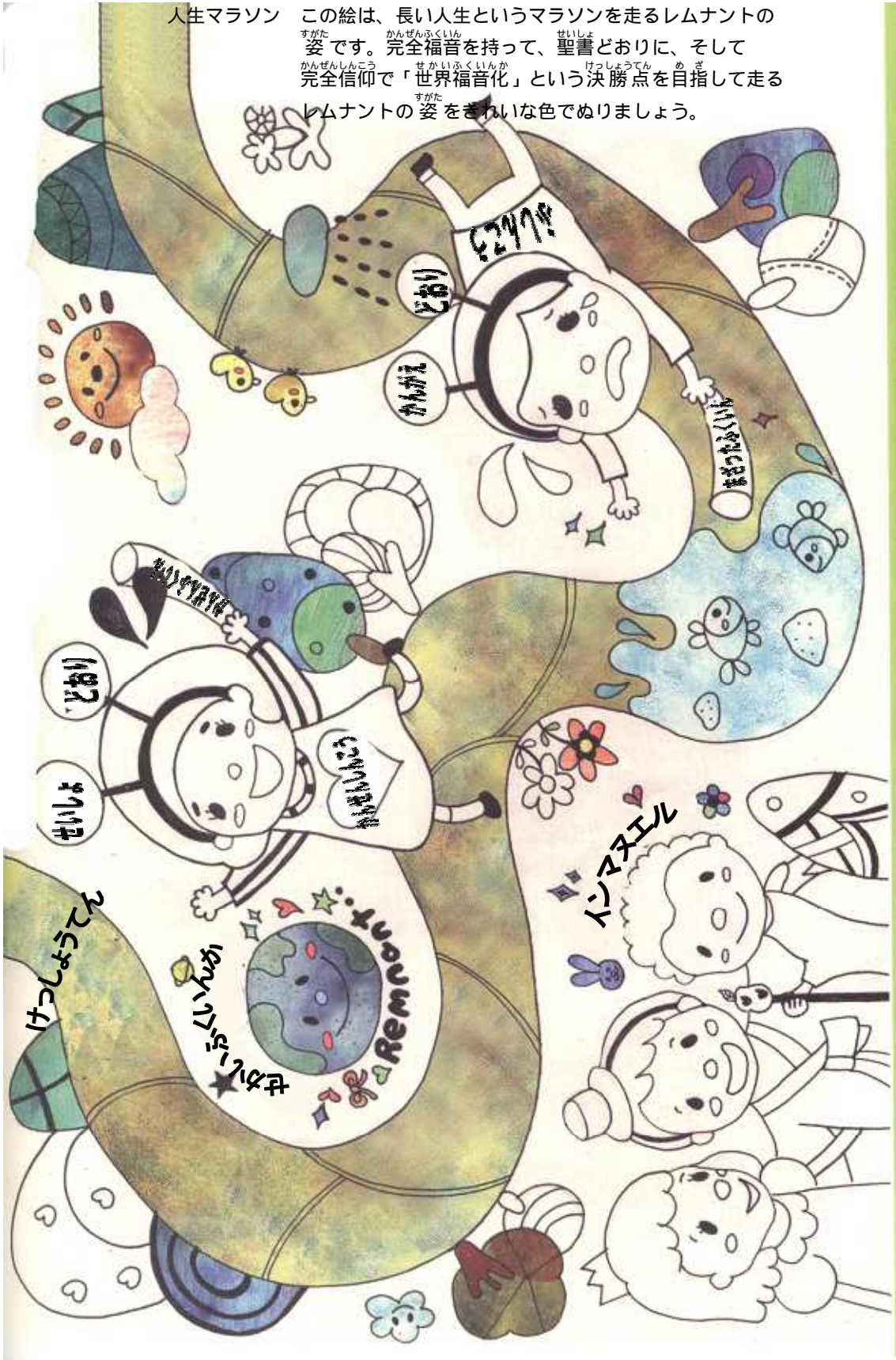
3. ただ必要なことは完全福音だけです

使徒パウロと初代教会は、イエス様がキリストであるという福音にいのちをかけました。私のいのちよりも大事な完全福音の祝福を信じればできることです。その結果、行く先々で、暗やみとのろいの勢力がくずれ、福音を聞いた多くの人々が救われるようになりました。幼い子どもから、おばあさんとおじいさんまで、すべての人たちにかかわらず必要なことは、ただ完全福音しかありません。

完全な福音を与えてくださった神様に感謝します。この世の人たちの多くは、お金をかせいで認められ、人気があることが最高だと考えまちがいをしています。彼らに、福音を完全に信じて、神様のみことばにしがって生きていく生き方がどれほど尊いかをあかすことができますように祝福してください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

定刻祈りの点検：昼12時 - 教会のために祈りましょう。夜9時 - RUTCのために祈りましょう

人生マラソン この絵は、長い人生というマラソンを走るレムナントの
 すがた 姿です。完全福音を持って、聖書どおりに、そして
 かんぜんしんこう せかいふくいんか けっしょうてん め ぎ
 完全信仰で「世界福音化」という決勝点を目指して走る
 レムナントの すがた 姿をきれいな色でぬりましょう。



2月
21(土)

しあわ でんどうしゃ
本当に幸せな伝道者

みことば 主は私の羊飼。私は、乏しいことはありません。
詩篇 23:1

道を知っている人は、道にまよってさまよっている人を導くことができます。それならば、神様をはなれて自分からは会うことができなく、霊的な問題という運命におちいった人たちには、本当の幸せを教えることができる人は、だれでしょうか。

1. 本当の幸せの奥義を持ちましょう

自分だけの祈りの奥義がありますか。24時間、神様とお話をしながら、力を受けるのが一番良い祈りです。私だけの伝道の奥義は何でしょうか。神様がくださった救われることに定められている祝福の出会いをずっと続けられれば良いのです。私だけのみことばと成功を味わっていますか。他の人はわからない、神様が特別に私にだけくださったみことばをにぎりましょう。こういうことを味わった人が、幸せな伝道者です。

2. 世の中とサタンに勝つことができます

神様を信じられないようにする敵であるサタンは、世の中の良いものをすべて利用して、私たちが福音だけのがすように続けて誘惑します。それでレムナントはいつもキリストの中にすべてがあることを悟って、神様の恵みの目で、私の現場と世の中と成功と環境を見なければなりません。そうすれば、サタンは逃げて、世の中に十分に勝つことができます。

3. 祝福された未来まで保障されています

私が生きる目的は、福音の次世代であるレムナントのために RUTC を立てることです。また、大人になって、福音を持った重職者として産業人のモデルになって、教会を復興させる主役になることです。私を通じて全世界を福音化しようと、神様が私の未来を祝福されました。

神様においのりします

この世の人々が知らない福音の奥義を悟らせてくださって、本当にありがとうございます。世界福音化をするレムナントとして、より成長して正しく変わっていきたくです。神様が使いやすい福音伝道者として生きることができるよう祝福してください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

しあわ おくぎ 幸せの奥義

小さいときに、お母さんがなくなったジョージ・ミュラーは、うそとぬすみをいつもする大人として育った。そのようなある日、友人の紹介で祈りの集いに参加するようになったミュラーは、そこでひざまずいて祈る人々の姿を見てびっくりした。

「どうして、あのように幸せなのか。私もあんな幸せを味わったら・・・」

ジョージ・ミュラーは、その日から後、祈り集いにまじめに参加しながら、何が本当の福音であり、本当の幸せなのか知ることになった。

歳月が流れて、牧師になったジョージ・ミュラーは、親がいなくて育てている孤児を見ながら、とても心がいたくなかった。それで彼は子どもたちを神様の愛で育てることに決心した。しかし、孤児院を立てて子どもたちを養育することは、簡単なことではなかった。

ある日、子どもたちの食べる物がなくなってしまったのだ。ジョージ・ミュラーは、いつもとまったく同じように子どもたちを何も無い食卓に座らせた後、手を合わせて静かに神様に食事の祈りをささげた。

彼の祈りが終わったとたん、一台の馬車が孤児院の門の前に突然現れた。

近くの工場従業員のパクニックに使おうと注文した

パンと牛乳だった。雨がたくさん降ってきたので、

ピクニックが中止になって、それが孤児院に

あげようと持ってきたのだった。ジョージ・ミュラーは、

祈りに答えられる神様に感謝して、ほほえんだ。

このようにジョージ・ミュラーは、93歳でこの世を

さる時まで、5万回以上の祈りの答えを受けた。

ジョージ・ミュラーにとっては、いちばん幸せな時間は、

神様に向かう祈りの時間だった。

れきし きろく 私の歴史記録

ていこくの
定刻祈りの点検： 昼12時 - 教会のために祈りましょう
よる
夜9時 - RUTCのために祈りましょう

